

地区会開催

◆東京A地区会

平成25年2月4日、八重洲富士屋ホテルにおいて、東京A地区会（代表幹事：落合正雄、東芝ソリューション(株)顧問）が開催された。参加者60名。

冒頭、落合代表幹事から、来賓及び会議スケジュールの紹介とともに、本日の会議・講演がJISAの推進する業界の構造改革の参考になれば幸いである旨の挨拶があった。

経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・鈴木あやの係長から、情報サービス産業の現状と課題、IT融合新産業、次世代高度人材育成等の最近の情報政策の概要説明とともに、経済産業省が構築した「Open DATA METI」サイトにおける「DATA METI活用パートナーズ」の募集について、申込み方法やスケジュールなどの紹介があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(JISA基本統計2012、DI調査、特サビ動態統計)の説明の後、JISA上期事業、CO2削減自主行動計画、国際会議関係、平成25年度税制改正に関する要望等、最近のJISA活動状況に関する報告があった。

続いて、落合代表幹事から、平成25・26年度のA地区会が推薦する理事候補者について、1月末現在で3名の自薦・他薦がJISA本部に寄せられている旨の説明及びA地区会が推薦する2名の選出については、代表幹事に一任願いたい旨の提案があり、異議なく了承された。

休憩をはさみ、佐藤満氏（(株)佐藤満 国際経営・農業研究所 代表取締役社長、(元)日本ゼネラルモーターズ社長）による『壁を破る発想法ー攻めのビジネススピリット』と題する講演が行われ、フォルクスワーゲン・アウディ日本等の社長を歴任された自らの経験を紹介しながら、現在のビジネス環境を突破する心構えなどを講話された。

◆関西地区会

平成25年2月8日、ホテル阪急インターナショナルで関西地区会(代表幹事：鴨井功、NECシステムテクノロジー(株)顧問)が開催された。参加者55名。

冒頭、鴨井代表幹事から、地区会に先立ち、JISA平成25・26年度地区会推薦理事候補者の審議が行われ、5名の候補者を決定した旨の報告があった。

引き続き、鴨井代表幹事から、経済再生は我々の事業にとっても大きなビジネスチャンスであり、ICT産業がこの成長を牽引する中核のエネルギーになっていかなくてはならないと思っている。JISA構造改革の一環で行われている構造改革シンポジウムでは、会員の皆さんと意見交換しながら我々の変わるべき方向等について議論をしている。また、地域振興としては、ベンダー、ユーザー等関係者連携のための活動を行っている。今後、新しい成長に向けていろいろな形のものを作り上げていきたい。力強い成長が開けるように皆さんに協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

続いて、浜口会長から冒頭の挨拶とともに、1月30日～2月3日に行われたJISAミャンマーミッションでミャンマーコンピュータ協会と懇談したこと、現地のソフトウェア・サービス企業や日系IT関連の企業を訪問したこと及びミャンマーのIT産業の現状等について紹介があった。

議事に入り、最初に地区会事務局から来賓の紹介があった後、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・横田一磨課長補佐から、情報サービス産業の現状と課題、IT融合新産業、次世代高度人材育成及び新たな情報処理基盤技術の創出等の最近の情報政策の概要とともに、経済産業省が構築した「Open DATA METI」サイトにおける「DATA METI活用パートナーズ」の募集について、申込み方法等の説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(JISA基本統計2012、DI調査、特サビ動態統計)の説明の後、JISA上期事業、CO2削減自主行動計画、国際会議関係、平成25年度税制改正に関する要望等、最近のJISA活動状況に関する報告があった。

続いて、関西地区会事務局から、平成24年度期中の活動及び会計の報告があった。

休憩を挟んで、株式会社あきない総合研究所・代表取締役の吉田雅紀氏による『土俵戦略とちゃんと理論』と題する講演が行われ、「起業一筋」の事業コンセプトの紹介や起業立ち上げの心構えなどを講話された。

◆東京B地区会

平成25年2月12日、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、東京B地区会（代表幹事：竹田征郎、情報技術開発(株) 会長）が開催された。参加者40名。

冒頭、竹田代表幹事から、最近の経済状況及びJISA構造改革の進捗状況と新市場創造を中心とする平成25年度からの取組についての説明とともに、会員企業においても情報を共有し、業界全体の発展に共に努力していきたい旨の挨拶があった。

引き続き経済産業省商務情報政策局情報処理振興課係長・船渡優太氏から、情報サービス産業の現状と課題、IT融合新産業、次世代高度人材育成等の最近の情報政策の概要説明とともに、経済産業省が構築した「Open DATA METI」サイトにおける「DATA METI活用パートナーズ」の応募方法等について紹介があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(JISA基本統計2012、DI調査、特サビ動態統計)の説明の後、JISA上期事業、CO2削減自主行動計画、国際会議関係、平成25年度税制改正に関する要望等、最近のJISA活動状況に関する報告があった。

続いて、竹田代表幹事から、平成25・26年度の東京B地区会の推薦理事候補者の選出について、1月末現在、3名の自薦、他薦がJISA事務局へ寄せられている旨の説明及び地区会選出の2名の候補者については代表幹事に一任願いたい旨の提案があり、異議なく了承された。

最後に、ベルリッツコーポレーション・代表取締役会長兼社長兼CEOの内永ゆか子氏による『グローバルに活躍する人材の要件とは』と題する講演が行われた。

◆東京D地区会

平成25年2月13日、経団連会館カンファレンスにおいて、東京D地区会（代表幹事：古道義成、NECソフト(株)代表取締役 執行役員社長）が開催された。
参加者50名。

冒頭、古道代表幹事から、参加者への謝辞と会議スケジュールの紹介があり、今回の講演は、社会の課題を見つけて我々の本業で解決することによって新しい顧客及びマーケットを創造していこうというものであり、是非、今後のビジネスに活かしていただきたい旨の挨拶があった。

続いて、明治大学教授の野田稔氏による『我々を取り巻く環境と内なる病』と題する講演が行われ、次の10年をかけて挑むべきフロンティアを見つけることが我々の目指すべき課題であること、マネジメントの役割とは、成すべきことを決め、出来る仕組みを作り、人を育て、やる気を引き出すこと等、ビジネスリーダーの在り方などを講話された。

経済産業省商務情報政策局情報処理振興課の堀江大地氏から、情報サービス産業の現状と課題、IT融合新産業、次世代高度人材育成等の最近の情報政策の概要説明とともに、経済産業省が構築した「Open DATA METI」サイトにおける「DATA METI活用パートナーズ」の募集等について紹介があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(JISA基本統計2012、DI調査、特サビ動態統計)の説明の後、JISA上期事業、CO2削減自主行動計画、国際会議関係、平成25年度税制改正に関する要望等、最近のJISA活動状況に関する報告があった。

最後に、古道代表幹事から、平成25・26年度の東京D地区会の推薦理事候補者の選出について、1月末現在、数名の自薦、他薦がJISA事務局へ寄せられている旨の説明及び東京D地区会選出の2名の候補者については代表幹事に一任願いたい旨の提案があり、異議なく了承された。

◆中部地区会

平成25年2月15日、名古屋マリオットアソシアホテルにおいて、中部地区会（代表幹事：松尾榮一、(株)中電シーティーアイ代表取締役社長）が開催された。
参加者56名。

冒頭、松尾代表幹事から、来賓及び会議のスケジュールの紹介があり、地区会に先立ち行われた地区会推薦理事候補者の審議で引き続き候補者になった旨の報告とともに、大震災から2年が経とうとしているが、被災地はもとより日本経済全体まだまだ厳しい状況が続いている。情報サービス産業は転換期を迎えていることに加えて、BCP対応、サイバー・セキュリティ等多くの課題を抱えている。本日の会議が業界の環境改善の一助になれば幸いである旨の挨拶があった。

続いて、岡本副会長(中部地区会担当)から、名古屋が再び活気を取り戻し、注目を浴びるように感じられる。当地区会の講演は地域に密着したテーマであり、いつもすばらしい。本日の地区会が参加者にとって有意義な会合となることを期待したい旨の挨拶があった。

中部経済産業局地域経済部次長・正木明氏から、中部地域のIT産業の現状と課題及び中部地域八ヶ岳構造創出戦略等の状況を紹介する内容の挨拶があった。

経済産業省商務情報政策局情報処理振興課係長・安藤成純氏から、情報サービス産業の現状と課題、IT融合新産業、次世代高度人材育成等の最近の情報政策の概要説明とともに、経済産業省が構築した「Open DATA METI」サイトにおける「DATA METI活用パートナーズ」の募集等について紹介があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(JISA基本統計2012、DI調査、特サビ動態統計)の説明の後、JISA上期事業、CO2削減自主行動計画、国際会議関係、平成25年度税制改正に関する要望等、最近のJISA活動状況に関する報告とともに、現在、策定中の平成25年度の事業計画について、3月上旬に広く会員各位に意見照会を行う予定である旨の説明があった。

休憩を挟んで、名古屋市市民経済局 名古屋城総合事務所 整備室長の加藤三紀彦氏による『名古屋城本丸御殿の復元について』と題する講演が行われ、史実に忠実に復元することで匠の伝統技術・技法を継承するという復元の意義等を講話された。

◆東京C地区会

平成25年2月19日、八重洲富士屋ホテルにおいて、東京C地区会（代表幹事：船越真樹、(株)インフォメーション・ディベロプメント代表取締役社長）が開催された。参加者は60名。

冒頭、船越代表幹事から、来賓及び会議のスケジュール等の紹介があった後、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課係長・瀧澤祐太氏から、情報サービス産業の現状と課題、IT融合新産業、次世代高度人材育成等の最近の情報政策の概要説明とともに、経済産業省が構築した「Open DATA METI」サイトにおける「DATA METI活用パートナーズ」の募集等について紹介があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(JISA基本統計2012、DI調査、特サビ動態統計)の説明の後、JISA上期事業、CO2削減自主行動計画、国際会議関係、平成25年度税制改正に関する要望等、最近のJISA活動状況に関する報告とともに現在、策定中の平成25年度の事業計画について、3月上旬に広く会員各位に意見照会を行う予定である旨の説明があった。

続いて、船越代表幹事から、平成25・26年度の東京C地区会の推薦理事候補者の選出について、1月末現在、数名の自薦、他薦がJISA事務局へ寄せられている旨の説明及び地区会選出の2名の候補者については代表幹事に一任願いたい旨の提案があり、異議なく了承された。

休憩をはさみ、落語芸術協会初の女性真打の噺家・桂右團治師匠による「『笑いと健康』～落語に見る江戸の人情～」と題する講演が行われ、その中で落語も披露された。

会議終了後、昨年同様、ピアノとフルートによるミニクラシックコンサート付きの懇親会が行われた。

(菊池)